



BELLUNA

証券コード：9997

お客様の衣食住遊を豊かにする

Interim Business Report

株式会社ベルーナ

第43期 中間株主通信

2018年4月1日～2018年9月30日





第三次経営計画もいよいよ大詰め。
さが美グループも傘下に加わり、
“通信販売総合商社”の
基盤作りが着々と進んでいます。

代表取締役社長 安野 清

■ 当社グループを取り巻く市場環境

当第2四半期の国内景況は、良好な企業収益と内需の持ち直しによって、緩やかな回復基調が持続しております。通信販売業界においては、電子商取引（EC）の急成長によって市場の拡大は続いているものの、消費者のデフレマインドは根強く、企業間の価格競争の激化や配送

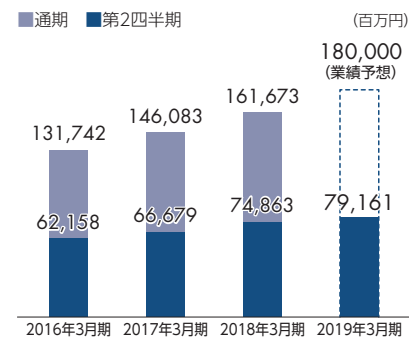
コストの上昇など、厳しい状況が続いております。

■ 当期の概況

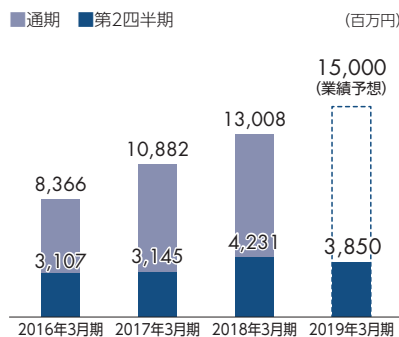
当第2四半期の連結売上高は、さが美グループホールディングスが連結対象に加わったことなどから、791.6億円（前年同期比5.7%増）となりました。営業利益は、

Financial Highlights 財務ハイライト

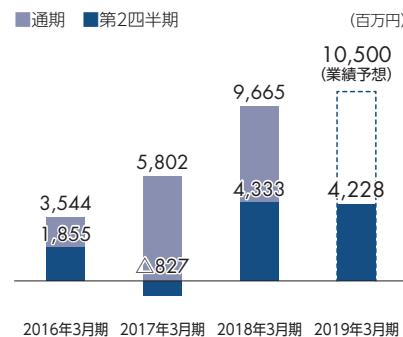
■ 売上高



■ 営業利益



■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



総合通販事業での配送料値上げなどによって38.5億円（同9.0%減）となりました。経常利益は、為替関連損益が大きくプラスに転じたことを受けて66.1億円（同19.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期は固定資産売却益があったことなどから42.2億円（同2.4%減）となりました。

財政状態に関しましては、短期借入金増加などによって、負債は前期末に比べ85.6億円増加し、1,114.5億円となりました。一方、総資産は前期末比130.8億円増加し、2,090.3億円となりました。この結果、純資産は45.2億円増加の975.7億円となり、自己資本比率は46.0%となりました。

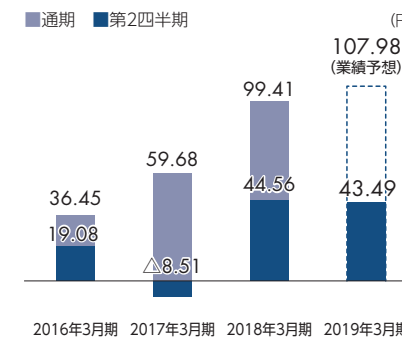
■ 第三次経営計画の進捗

当社グループは現在、2017年3月期から2019年3月期を対象とする第三次経営計画において、“通信販売総合商社”としてさらなる進化を果たすための様々な施策を

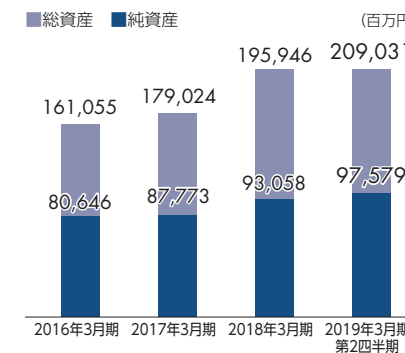
展開しております。計画最終年度となる当期も、「総合通販事業の安定的な成長」「専門通販事業の拡大」「店舗販売事業の新規出店による拡大」「ポートフォリオの成熟に向けたプロパティ事業の強化」という4大事業の成長に取り組んでまいりました。

当第2四半期は、「店舗販売事業」が大幅に業績を伸ばしました。2018年6月22日付けでさが美グループホールディングスが連結子会社となったことから、同セグメントの売上高は前年同期比65.2%増と大幅に増加しました。「専門通販事業」では、化粧品の通販サイトを運営するオージオや看護師向け通販が増収となり、セグメント売上高は同5.1%増となりました。一方で「総合通販事業」はカタログ発行の後ろ倒しや配送料の値上げなどによって減収、「プロパティ事業」も不動産の新規販売がなかったことなどから減収となりました。今後も引き続き、これらの事業の強化・育成に努めてまいります。

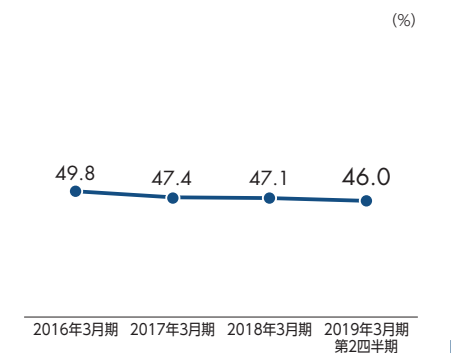
■ 1株当たり四半期(当期)純利益



■ 総資産・純資産



■ 自己資本比率



■ 通期の見通し

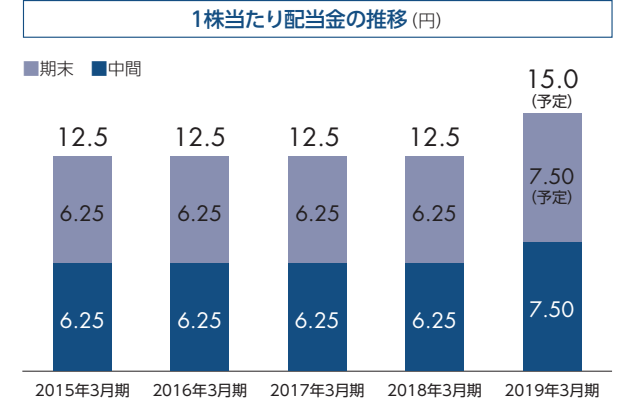
2019年3月期の通期業績については、期初予想通り売上高1,800億円(前期比11.3%増)、営業利益150億円(同15.3%増)、経常利益155億円(同17.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益105億円(同8.6%増)と見込んでおります。第三次経営計画の最終年度を計画通りに着地させるとともに、2020年3月期から始まる第四次経営計画に向けて収益性と成長性をさらに高め、「通信販売総合商社」としての成長を図ってまいります。

■ 株主還元について

当社は、企業価値の向上を通じて株主の皆様の厚いご支援にお応えすることを経営上の重要な方針と位置づけております。また、足下の経営状況と中長期的な成長に向けた投資の必要性などを総合的に勘案しつつ、安定的な配当を実施していく方針を掲げております。このような方針に基づき、当第2四半期末の配当金は、1株当たり7.5円とさせていただきます。前年同期の配当実績に対して1株当たり1.25円の増配となります。

当社グループは、「お客様の衣食住遊を豊かにする」と

いう経営理念の下、1968年の創業以来、「顧客志向・顧客密着」を合言葉として、通信販売を中心に多様なサービスを展開してまいりました。通信販売で培った経営資源を徹底的に活用し、多角的に事業を展開することで安定的な成長性と収益性を実現する“ポートフォリオ経営”という独自のビジネスモデルを原動力として、今後も新たな価値を生み出し続けてまいります。株主の皆様におかれましては、当社グループへの変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



株主優待内容

1 優待券、優待クーポンまたは自社取扱商品から選択

① 当社運営の通信販売で使用できる優待券 ② ベルーナネットで使用できる優待クーポン ③ 自社取扱の食品またはワイン



2 「裏磐梯レイクリゾート(旧裏磐梯猫魔ホテル)」で利用できる宿泊優待券



3 「ルグラン旧軽井沢」で利用できる宿泊優待券



保有株式数	1 優待券または自社取扱商品から選択	2 裏磐梯レイクリゾート優待券	3 ルグラン旧軽井沢優待券 ^{*3}
100株以上500株未満	①1,000円分の通信販売 ^{*1} 優待券 ②1,000円分のネット専用優待クーポン ③1,000円相当の自社取扱の食品またはワイン ^{*2}	宿泊優待券1枚	宿泊優待券1枚
500株以上1,000株未満	①3,000円分の通信販売 ^{*1} 優待券 ②3,000円分のネット専用優待クーポン ③3,000円相当の自社取扱の食品またはワイン ^{*2}	宿泊優待券2枚	宿泊優待券1枚
1,000株以上	①5,000円分の通信販売 ^{*1} 優待券 ②5,000円分のネット専用優待クーポン ③5,000円相当の自社取扱の食品またはワイン ^{*2}	宿泊優待券4枚	宿泊優待券1枚

^{*1} 衣料品、生活雑貨、家具等を販売する総合通販でご利用いただけます。

^{*2} 自社取扱の食品またはワインは、当社が選定した商品をお送りいたします。商品をカタログから選ぶことはできません。

^{*3} ルグラン旧軽井沢の宿泊優待券は、年1回(12月上旬発行分)のみの贈呈となります。

^{*4} 株主優待のご利用方法の詳細については、贈呈時にご案内いたします。

発送時期・有効期限

	発送時期	有効期限
中間	12月上旬	12月1日～6月30日
期末	6月下旬	7月1日～12月31日

対象となる株主様

毎年3月末および9月末の株主名簿に記載または記録された当社株式100株(1単元)以上保有の株主様

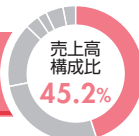
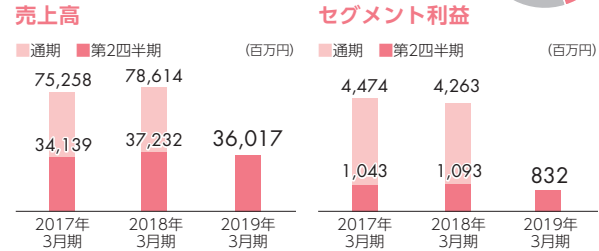
Summary of Consolidated Results 連結業績の概況

総合通販事業

▶ カタログやインターネットなどを媒体とする衣料品・生活雑貨・家具等生活関連商品の販売および関連事業



カタログ発行の後ろ倒しなどにより、売上高は360.1億円(前年同期比3.3%減)となりました。また、セグメント利益は配送料の値上げなどにより8.3億円(同23.9%減)となりました。

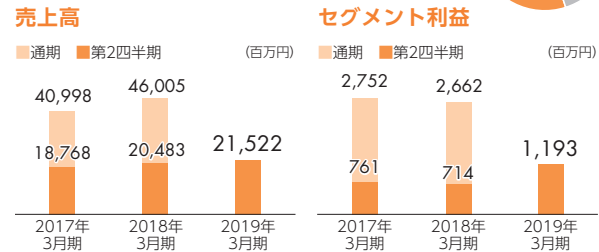


専門通販事業

▶ 食料品・化粧品・健康食品の販売など、特定のお客様を対象として専門的に商品を販売している事業



化粧品事業が好調だったことにより、売上高は215.2億円(同5.1%増)となりました。また、セグメント利益は化粧品事業の好調に加え、看護師向け通販事業及び健康食品事業の収益性改善もあり、11.9億円(同66.9%増)となりました。

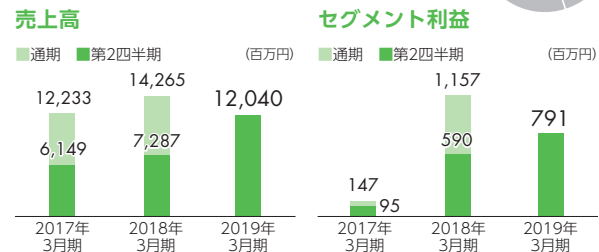


店舗販売事業

▶ 衣料品・和装関連商品等の店舗販売事業



店舗事業では、天候不順等の影響により売上、営業利益ともに苦戦しました。一方で、さが美グループホールディングス(株)が新たに連結グループに加わったことにより、売上高は120.4億円(同65.2%増)となり、セグメント利益は7.9億円(同33.9%増)となりました。

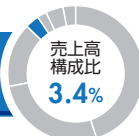
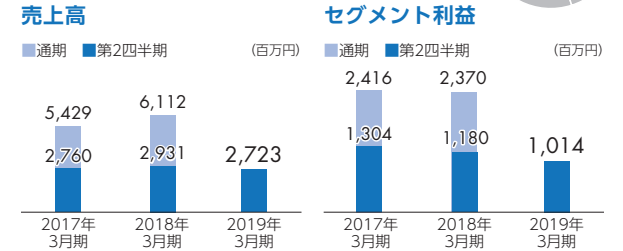


ソリューション事業

▶ 封入・同送サービスや通販代行サービスなど、当社グループのデータベースやインフラを活用した受託事業



大口クライアントの取引縮小で封入・同送サービスが苦戦したことにより、売上高は27.2億円(同7.1%減)、セグメント利益は10.1億円(同14.1%減)となりました。

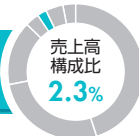
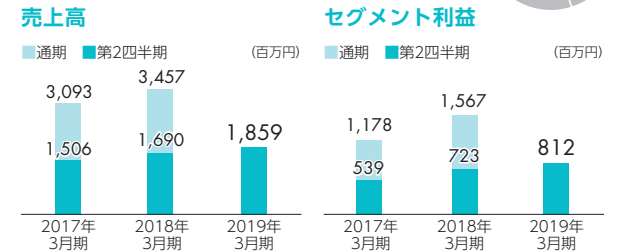


ファイナンス事業

▶ 通信販売事業の顧客を中心に展開するB to Cファイナンス事業



国内消費者金融事業の貸付金残高を伸ばしたことにより、売上高は18.5億円(同10.0%増)、セグメント利益は8.1億円(同12.3%増)となりました。

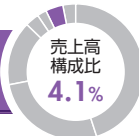
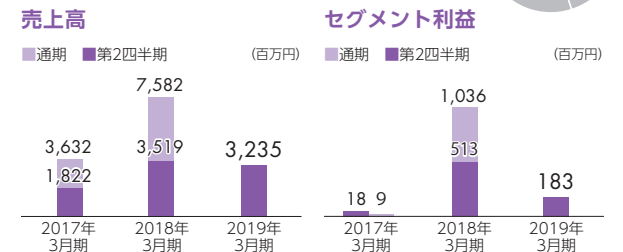


プロパティ事業

▶ オフィスビルなどの賃貸および再生・開発を手掛ける不動産事業、およびホテル事業



ホテル事業の売上増加が貢献したものの、不動産販売がなかったことにより、売上高は32.3億円(同8.1%減)となりました。また、セグメント利益は、新規ホテルの開業に向けた費用の増加等により1.8億円(同64.4%減)となりました。



さが美グループホールディングスを子会社化 経験やノウハウを共有して和装関連事業を拡大 5年後の2023年に全国480店舗を目指します

当社は、2018年5月7日に開催された取締役会において、さが美グループホールディングス株式会社（以下さが美グループ）の普通株式を金融商品取引法に基づく公開買付けにより取得することを決議しました。本公開買付けは6月18日に終了し、6月22日にさが美グループは当社の連結子会社となりました。

さが美グループは1974年に創業。きもの（着物）の販売やレンタルを主要事業とし、株式会社さが美と株式会社東京ますいわ屋という2社の和装専門店チェーンを傘下に、全国に160店舗以上を展開しています。日本の伝統文化であるきもの業界では屈指のブランド力を持つ会社として知られています。

今回の子会社化は、和装慣れしたお客様が多いさが美グループの経験やノウハウを共有することで和装関連事業を拡大するのが狙いです。当社グループで和装事業を手がける株式会社BANKANわものやと連携させながら、さが美グループが得意としてきた高額品を扱う一方、価格を抑えた新商品で新たなお客様を獲得し、和装市場のシェア率を高めていきたいと考えています。和装関連事業では、5年後の2023年には全国で480店舗に増やす方針を掲げています。

ベルーナグループの和装関連事業



株式会社さが美

きものを着る機会の提供、着付け、お手入れ、リメイク、リサイクルなど、きものライフに関するさまざまな商品とサービスを提供。全国に120店舗を展開しています。

<http://www.sgm.co.jp/>



株式会社東京ますいわ屋

1946年に「ますいわ屋」として大阪で開業し、1959年から全国出店を開始。高級和装専門店として百貨店を中心に44店舗を展開しています。

<http://www.masuiwaya.co.jp/>



株式会社BANKANわものや

「和」のトレンドを追求する新時代の着物屋。全国79店舗を展開し、「和」をカジュアルに取り入れるきものライフを提案。きもの、ゆかた、和雑貨など取り扱っています。

<http://www.bankan.co.jp/wamono-ya/>



さが美グループホールディングス代表取締役社長に聞く

お互いの良さ、持ち味を活かし 和装の魅力を今まで以上に伝えていきたい

今回、さが美グループは株式公開買付けという形でベルーナグループの仲間入りを果たしました。

西脇 ベルーナさんとは何度もお会いして話し合いました。株式会社BANKANわものやを通して和装事業を展開している点を特に魅力に感じましたが、何よりもベルーナさんが「さが美」という伝統に対して非常に敬意を持っていたことが確信できましたので、今回のような形となりました。

一般的に呉服業界は市場縮小と見られています。

西脇 前事業年度においては、赤字要因を解消し、経営資源をきもの事業に集中させることで営業利益の黒字化を図りましたが、苦戦が続いていたのは確かで、従業員の気持ちがなかなか前向きにならない部分もありました。「衣食住遊」におけるサービスや販売の成功実績が多いベルーナグループへの加入を機に、この気持ちの面でも着実に良い効果が出てきています。私自身は現場を知るため、全国約120店舗を1店舗ずつめぐり、従業員の姿勢がさらに前向きになるような改革に取り組んでいるところ



さが美グループホールディングス株式会社 代表取締役社長
西脇秀雄

り組んでいるところです。BANKANわものやとの連携が期待されます。
西脇 お互いの良さ、持ち味を活かしていけたら良いですし、一緒にできることはどんどん取り組んでいきたいです。大きくなった規模を生かし、和装の魅力を今まで以上に伝えられるはず。今回、私はベルーナさんから大きな支援を得た部分もあると感じています。しっかりとお互いのところを合わせて、顧客満足度を高めていきたいですし、その覚悟もあります。株主の皆様には、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 2018年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間 2018年9月30日現在
資産の部		
流動資産	89,989	93,957
固定資産	105,956	115,073
有形固定資産	75,549	82,325
無形固定資産	11,737	11,635
投資その他の資産	18,670	21,112
1 資産合計	195,946	209,031
負債・純資産の部		
流動負債	42,331	51,739
固定負債	60,556	59,712
2 負債合計	102,888	111,451
株主資本	93,374	97,005
資本金	10,607	10,612
資本剰余金	10,958	10,963
利益剰余金	71,809	75,430
自己株式	△0	△1
その他の包括利益累計額	△1,029	△821
非支配株主持分	713	1,395
純資産合計	93,058	97,579
負債純資産合計	195,946	209,031

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

POINT

1 資産合計

前期末に比べ13,084百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が減少した一方で、営業貸付金、商品及び製品、その他の流動資産、建物及び構築物、土地、その他投資が増加したことなどによるものです。

2 負債合計

前期末に比べ8,563百万円増加しました。これは主に、短期借入金、その他負債が増加した一方で、長期借入金が598百万円減少したことによるものです。

3 売上高

店舗販売事業はさが美グループの連結もあり増収、専門通販事業は化粧品事業を中心に増収、一方で総合通販事業は秋冬カタログの発行の後ろ倒しなどの影響により減収となり、前年同期比5.7%増となりました。

4 営業利益

専門通販事業は健康食品事業のリフレの収益改善や化粧品事業のオーデオの増収効果などにより増益、一方でプロパティ事業は不動産の売却がなかったことなどにより減益となり、前年同期比9.0%減となりました。

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 2017年4月1日～ 2017年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2018年4月1日～ 2018年9月30日
3 売上高	74,863	79,161
売上総利益	41,678	45,011
販売費及び一般管理費	37,446	41,161
4 営業利益	4,231	3,850
営業外収益	1,643	2,988
営業外費用	343	220
経常利益	5,531	6,618
特別利益	1,001	33
特別損失	512	110
税金等調整前四半期純利益	6,021	6,541
法人税、住民税及び事業税	1,329	2,181
法人税等調整額	370	96
四半期純利益	4,321	4,263
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11	35
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,333	4,228

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 2017年4月1日～ 2017年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2018年4月1日～ 2018年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,251	1,235
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,212	△10,472
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,674	4,811
現金及び現金同等物に係る換算差額	34	7
現金及び現金同等物の増減額	△3,250	△4,417
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,165	17,610

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

詳細な財務情報は、当社Webサイト「株主・投資家情報」をご覧ください。

ベルーナ IR

子会社のグランベルホテルが、高級リゾートホテル
「LE GRAND (ルグラン) 軽井沢ホテル&リゾート」をオープン

当社子会社で、リゾートホテルの運営を手がける株式会社グランベルホテルが、2018年7月20日、長野県北佐久郡に「LE GRAND (ルグラン) 軽井沢ホテル&リゾート」をオープンいたしました。大自然に囲まれた約7万坪の広大な敷地を持つグループ最大級の高級リゾートホテルです。

宿泊施設は「ホテル本棟」「ヴィラスイート」「山の上スイート」の3タイプをご用意。敷地の中には、チャペル(教会)やバンケット(宴会場)があり、日常と切り離された特別な結婚式を演出することができます。展望デッキからは浅間山が一望でき、軽井沢の大自然を感じられます。また、軽井沢エリアでは珍しい天然温泉施設も備えており、カフェやプール、エステサロン、フィットネスジムなども兼ね備えた、様々な角度からお楽しみいただける複合リゾートホテルです。



「My Wine CLUB」が10年連続で
ワイン通販国内売上高の1位に!

当社が運営するワイン専門通販「My Wine CLUB (マイワインクラブ)」が、東京商工リサーチの「国内ワイン通販市場シェアに関する調査」において、10年連続で通販国内売上高1位を獲得しました。2017年度の「マイワインクラブ」の売上高は36億9,700万円(前年比20.7%増)。10年連続受賞を記念し、ソムリエセレクトの9種類のワイン特別セットをセール価格で提供するネット限定キャンペーンを実施いたしました。



「BELLUNA」がLINEアカウントを開設
オリジナルスタンプも配信

当社が展開するレディースファッション通販「BELLUNA (ベルーナ)」は、コミュニケーションアプリ「LINE」において、2018年10月9日に公式アカウントを開設しました。40代～60代の女性をターゲットに、キャンペーンなどお得な情報を発信していきます。同日からオリジナルキャラクター「べるーにゃ」と、LINEクリエイターズスタンプ「毒舌あざらし」とのコラボスタンプを期間限定で配信しました。



■ 会社概要

会社名	株式会社ベルーナ (Belluna Co., Ltd.)		
資本金	106億12百万円		
創業	1968年9月		
設立	1977年6月		
従業員数	3,194名 (連結)		
事業内容	カタログ等による通信販売を核に、受託、金融、卸売等の分野で展開する通信販売総合商社		

■ 役員

代表取締役社長	安野 清	取締役 (監査等委員)	萩原 康雄
取締役	安野 雄一郎	社外取締役 (監査等委員)	渡部 行光
取締役	穴戸 順子	社外取締役 (監査等委員)	山縣 秀樹
取締役	生川 雅一		
取締役	下川 英士		
取締役	松田 智博		

■ 主な事業所

本社	(埼玉県上尾市)
本館	(埼玉県上尾市)
東京本部	(東京都中央区)
渋谷オフィス	(東京都渋谷区)
アネックスビル・第2アネックスビル	(埼玉県上尾市)
北関東支店	(埼玉県鴻巣市)
川越オーダーレセプションセンター	(埼玉県川越市)
春日部オーダーレセプションセンター	(埼玉県春日部市)
吉見口ジスティクスセンター	(埼玉県吉見町)
領家丸山流通システムセンター	(埼玉県上尾市)
領家山下流通システムセンター	(埼玉県上尾市)
宇都宮流通システムセンター	(栃木県鹿沼市)

■ 株式の状況

発行可能株式総数	260,000,000株
発行済株式の総数	97,244,472株
株主数 (除く自己名義)	8,130名

■ 大株主

	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社フレンドステージ	33,920	34.8
安野 清	9,938	10.2
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO) 常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行	6,750	6.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	6,557	6.7
安野 公	2,914	2.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,890	2.9
株式会社三井住友銀行	2,246	2.3
野村信託銀行株式会社 (退職給付信託三菱UFJ銀行口)	1,968	2.0
ベルーナ共栄会	1,627	1.6
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	1,546	1.5

※持株比率は自己株式 (932株) を控除して計算しています。

■ 所有者別株式分布状況

金融機関	個人投資家	事業会社	外国人
21.7%	21.6%	36.3%	20.4%

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領	期末配当金 3月31日
株主確定日	中間配当金 9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	3月31日
株式の売買単位	100株
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることのできない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。 公告掲載 URL https://www.belluna.co.jp/irinfo/stock/announcement/

株主名簿管理人 特別口座の口座 管理機関	みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先 および お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-288-324(フリーダイヤル)
上場金融 商品取引所	東京証券取引所市場第一部